2026年3月期 第1四半期
決算説明会資料

SBIレオスひふみ株式会社（証券コード：165A）

東証グロース市場250指数選定銘柄

目次

01 決算ハイライト 3

02 今後の成長戦略について 16

03 貸借対照表と配当政策 24

04 お知らせ 28

01 決算ハイライト

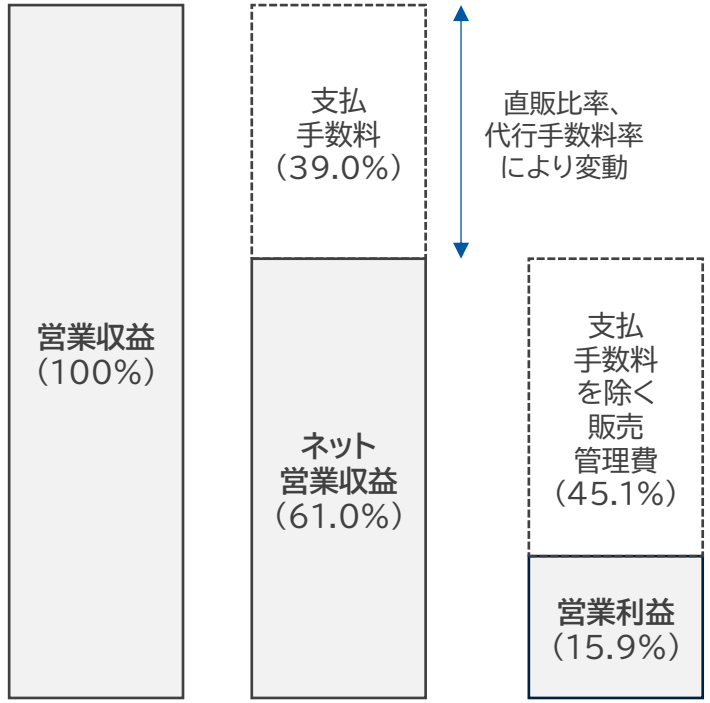
※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

業績サマリー

- 2025年4月のトランプ関税ショックの影響で運用資産残高が減少するも、6月末時点では過去最高水準まで回復。
- 平均運用資産残高が一時的に減少した影響を受け、営業収益は前年同期比-2.5%の2,776百万円。
- 人的資本への投資は継続。業容拡大に伴う外注費増加。営業利益は前年同期比-22.3%の442百万円。
- 当社は営業収益の変動に依存しない固定費の割合が高く、営業収益変動時の営業利益変動率が高い。

	2025年3月期 第1四半期	2025年3月期 通期	2026年3月期 第1四半期	前年同期比	前期末比
平均運用資産残高(億円)[1]	**13,569**	**13,346**	**13,256**	**-2.3%**	**-0.7%**
営業収益(百万円)	**2,848**	**11,424**	**2,776**	**-2.5%**	**–**
支払手数料	1,119	4,490	1,083	-3.2%	–
営業収益(ネット)(百万円)[2]	**1,728**	**6,933**	**1,692**	**-2.1%**	**–**
平均直販比率[3]	19.7%	19.7%	19.5%	-0.2ppt	-0.2ppt
平均投信報酬率[4]	62.2bps	62.6bps	62.6bps	+0.4bps	+0.0bps
販売管理費及び一般管理費(除く支払手数料)(百万円)	1,159	4,863	1,250	+7.9%	–
営業利益(百万円)	**569**	**2,070**	**442**	**-22.3%**	**–**
営業利益率	20.0%	18.1%	15.9%	-4.1ppt	-2.2ppt
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	**419**	**1,485**	**315**	**-24.8%**	**–**
EPS(円)	**4.06**	**14.40**	**3.24**	**-20.3%**	**–**

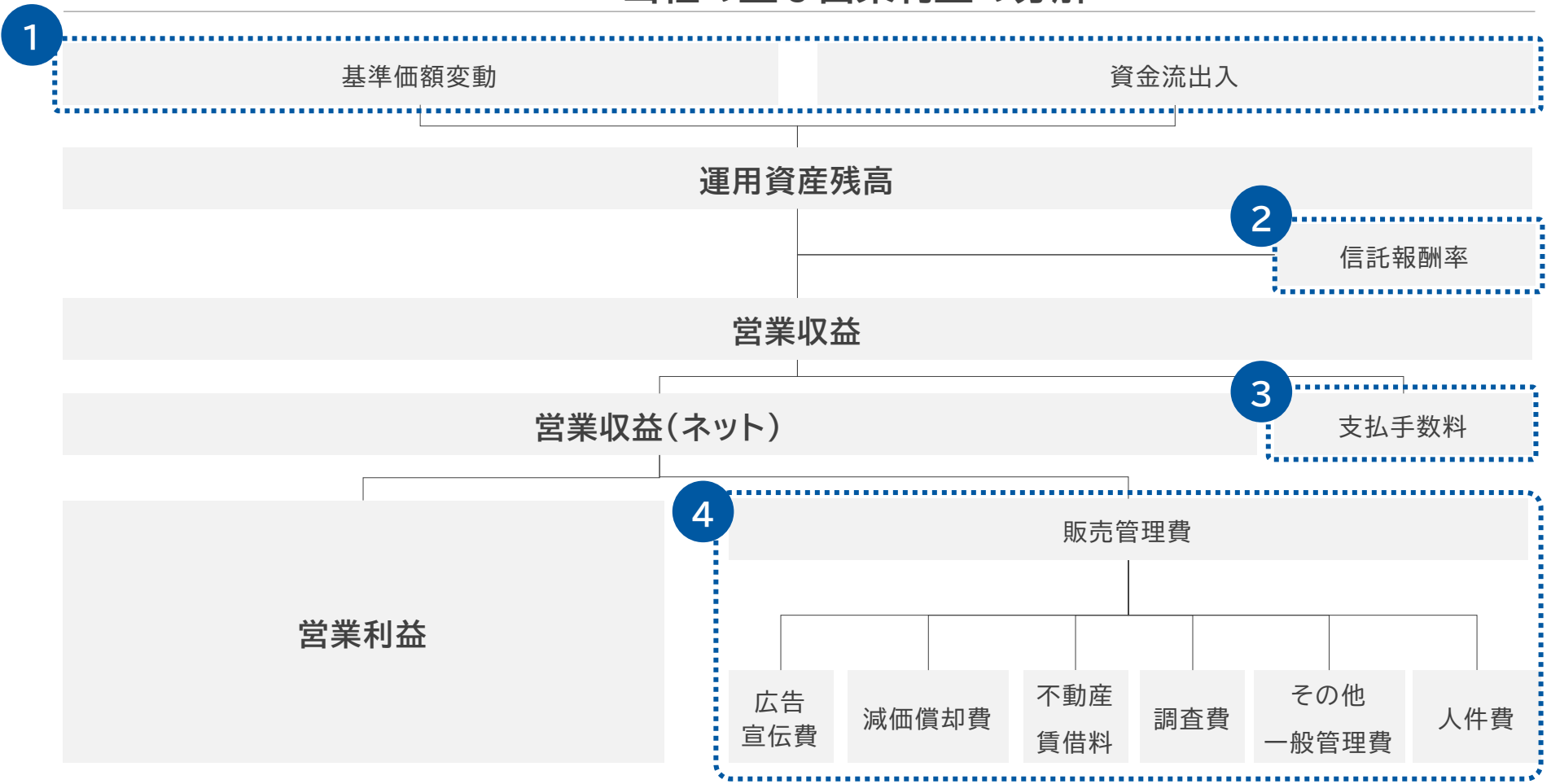
営業利益内訳(構成比率)



1 平均運用資産残高は当該期間の各月末時点における残高の月次平均。
2 営業収益(ネット)は営業収益から支払手数料(間接販売における販売パートナーに支払う代行手数料)を控除したもの。
3 平均直販比率は当該期間の各月末時点における公募投信残高に占める直販取扱投信の残高比率の月次平均。
4 平均投信報酬率は当該期間の各月末時点における当社グループ会社レオス・キャピタルワークスが運用する公募投資信託の信託報酬率のうち、代行手数料を控除した報酬率の平均値の月次平均。
※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

当社営業利益の要因分解

当社の主な営業利益の分解



ポイント

1 運用資産残高変動

当社の主な営業利益の始点となる運用資産残高は、当社グループが運用する投資信託の基準価額変動と資金流出入により変化する。

2 平均報酬率変動

運用資産残高に信託報酬率を掛けた金額が当社の主な営業収益。信託報酬率が高い投資信託の残高割合が増えれば、平均報酬率が上昇し、運用資産残高に対する収益率が上昇する。

3 直販比率変動

販売パートナー経由で投資信託の販売を行った場合、販売パートナーに手数料を支払う。信託報酬率が高い投資信託の残高比率が高まれば、支払手数料が増加する。また、直販比率が高まれば、営業収益に占める支払手数料比率が減少し、運用資産残高に対する収益率が上昇する。

4 販売管理費率変動

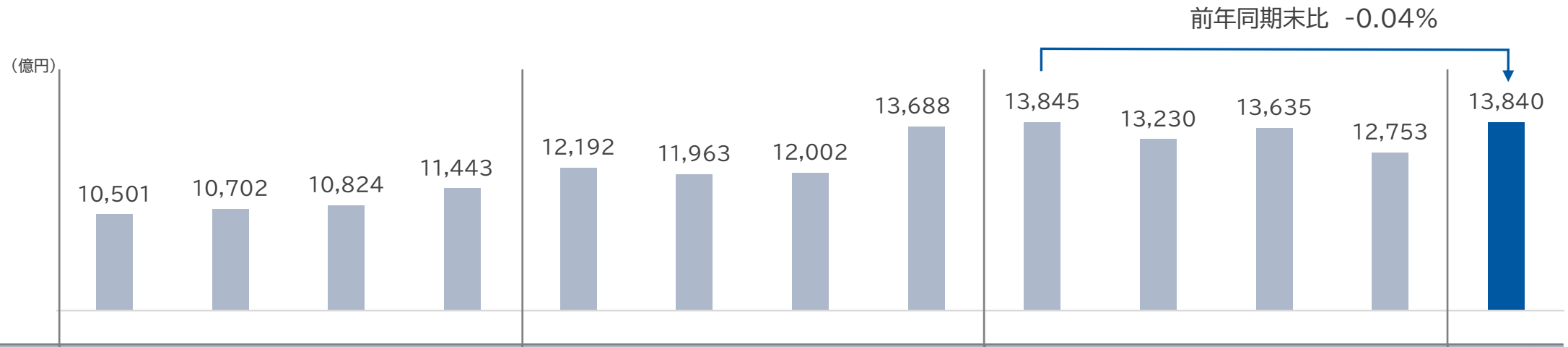
主な販売管理費は広告宣伝費（動画制作費含む）、減価償却費、人件費等。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

①運用資産残高の変動要因

- 2025年4月のトランプ関税ショックの影響で運用資産残高が減少するも、6月末時点では過去最高水準まで回復。
- 基準価額回復局面の6月は流出超となったものの、マーケットが不安定な4月、5月は資金流入となり、第1四半期累計では29億円の流入超。

運用資産残高の推移



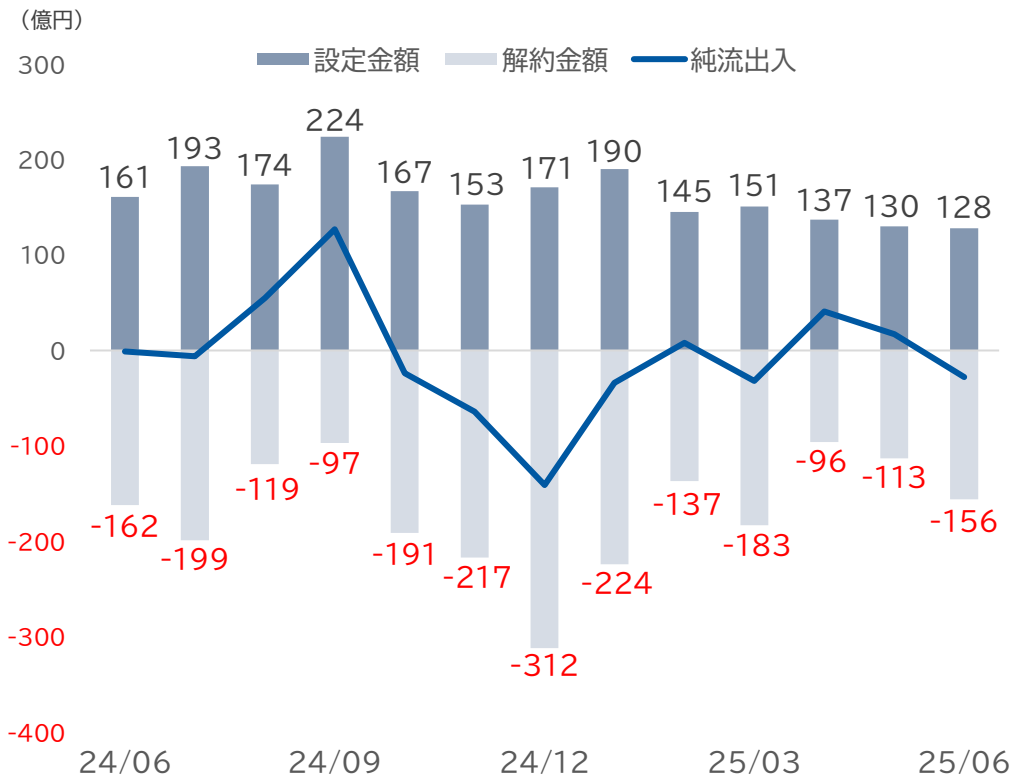
	2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
資金流出入(億円)	191	214	-14	1	-566	-224	-331	-353	35	175	-229	-56	29
運用損益(億円)	-769	-13	135	617	1,315	-4	370	2,038	121	-790	634	-825	1,056
運用資産残高前年同期比	-2.1%	-6.0%	-7.0%	3.3%	16.1%	11.8%	10.9%	19.6%	13.6%	10.6%	13.6%	-6.8%	-0.0%

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

① 2026年3月期の運用資産残高の変動要因

- つみたて投資による一定水準の設定金額は継続。株式市場の反発に伴う資金流出が継続。
- 2025年2月1日より運用体制変更。最高投資責任者（CIO）に湯浅が就任。
- 株式戦略部を国内、海外、小型株に分割し、コミュニケーションが深化。運用成績の向上を目指す。

資金流出入の要因分解



主な公募投信の基準価額推移

ひふみ投信、ひふみワールドの基準価額推移は2024年6月末を100として指数化。2025年6月末までの推移。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

YouTubeチャンネル「お金のまなびば！」はチャンネル登録者数70万人突破

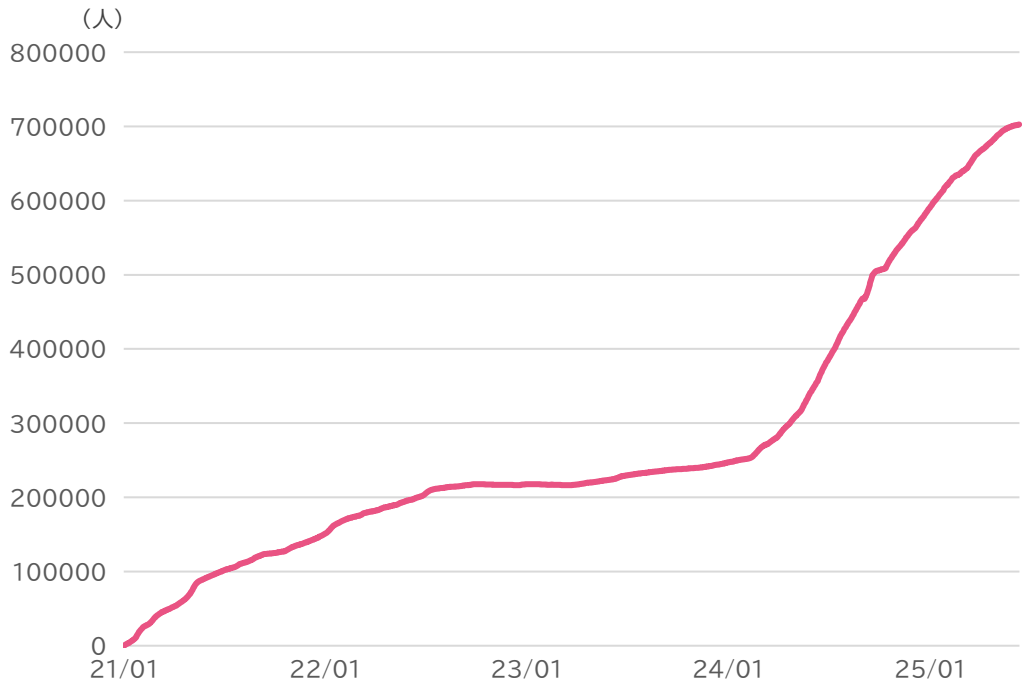
YouTubeチャンネル

お金のまなびば！（登録者数:70.2万人、2025年6月30日時点）

普段は語りにくいお金や投資、経済の話について、藤野やひふみメンバーと一緒に楽しく学んでいくチャンネル。

お金のまなびば!
二次元コード

チャンネル登録者数推移



期間:2021年1月21日～2025年6月30日

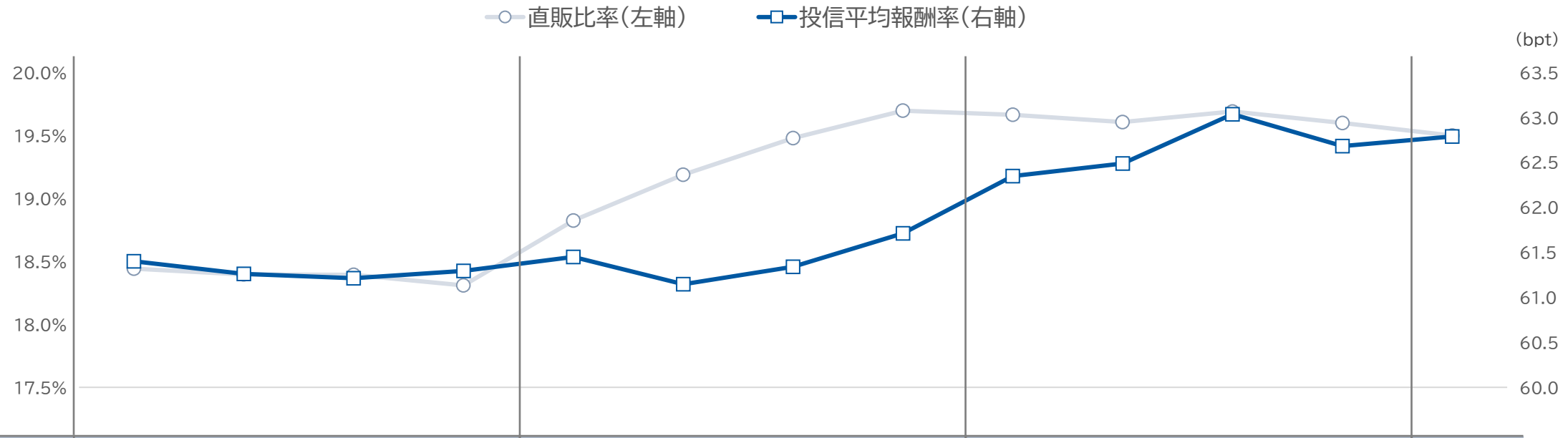
2025年6月 再生数ランキング

1位	【ニクヨとお金女子会 #4】 貯金が少額でもお金を増やす方法はありますか？	140,520回
2位	【第10期叡王戦】伊藤匠叡王の原点！ 子ども時代の話や師匠からのメッセージも！？	64,505回
3位	「バイキンマン＝ベンチャー起業!?」 アンパンマンから学ぶ“資本主義”の本質とは 【柳瀬博一×藤野英人】	53,348回

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

②投信平均報酬率と③直販比率の推移

- 投信平均報酬率は上昇傾向。
- 「ひふみワールド」シリーズ、「ひふみクロスオーバーpro」の残高拡大が投信平均報酬率の上昇に寄与。
- パートナーでの販売が好調で直販比率低下。つみたて継続保険「つみえーる」のローンチで直販の魅力向上を目指す。



	2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
直販比率	18.4%	18.4%	18.4%	18.3%	18.8%	19.2%	19.5%	19.7%	19.7%	19.6%	19.7%	19.6%	19.5%
投信平均報酬率（bpt）	61.4	61.3	61.2	61.3	61.4	61.1	61.3	61.7	62.3	62.5	63.0	62.7	62.8

直販比率は公募投信残高に占める直販取扱投信の残高比率。
投信平均報酬率は当社が運用する公募投資信託の信託報酬率のうち、当社グループが委託会社、販売会社として受け取る報酬率の平均値。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

各投資信託の報酬率と投資信託残高に占める比率の推移

	報酬率(bpt)		2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期
	直販	パートナー	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
ひふみ投信	90		14.1%	14.1%	14.1%	14.0%	14.3%	14.7%	14.8%	14.9%	14.5%	14.4%	14.1%	14.2%	14.1%
ひふみワールド	146		4.0%	4.0%	4.0%	4.1%	4.3%	4.2%	4.4%	4.6%	4.9%	4.8%	5.2%	4.9%	5.0%
ひふみらいと	48		0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
ひふみマイクロスコープpro	132											0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
ひふみクロスオーバーpro	145											0.1%	0.2%	0.2%	0.2%
ひふみプラス		45.5	46.3%	47.0%	47.4%	47.5%	47.8%	49.0%	48.7%	48.8%	47.7%	47.6%	46.5%	47.3%	47.1%
ひふみワールド＋		73	21.0%	20.7%	20.7%	21.0%	20.4%	19.1%	19.2%	18.9%	20.0%	19.5%	20.0%	18.8%	19.1%
まるごとひふみ15		29	1.0%	0.9%	0.8%	0.8%	0.7%	0.7%	0.7%	0.5%	0.5%	0.5%	0.4%	0.4%	0.4%
まるごとひふみ50		41.5	3.4%	3.2%	3.0%	2.8%	2.6%	2.4%	2.4%	1.7%	1.5%	1.4%	1.3%	1.3%	1.2%
まるごとひふみ100		59	4.7%	4.4%	4.1%	3.9%	3.5%	3.2%	3.0%	2.6%	2.5%	2.4%	2.3%	2.1%	2.0%
ひふみマイクロスコープpro		79								0.8%	1.2%	1.3%	1.3%	1.2%	1.1%
ひふみクロスオーバーpro		75										0.7%	1.4%	2.0%	2.2%
ひふみ年金		35.5	5.3%	5.4%	5.5%	5.7%	6.0%	6.3%	6.6%	6.8%	6.8%	6.8%	6.9%	7.1%	7.1%
ひふみワールド年金		49	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%

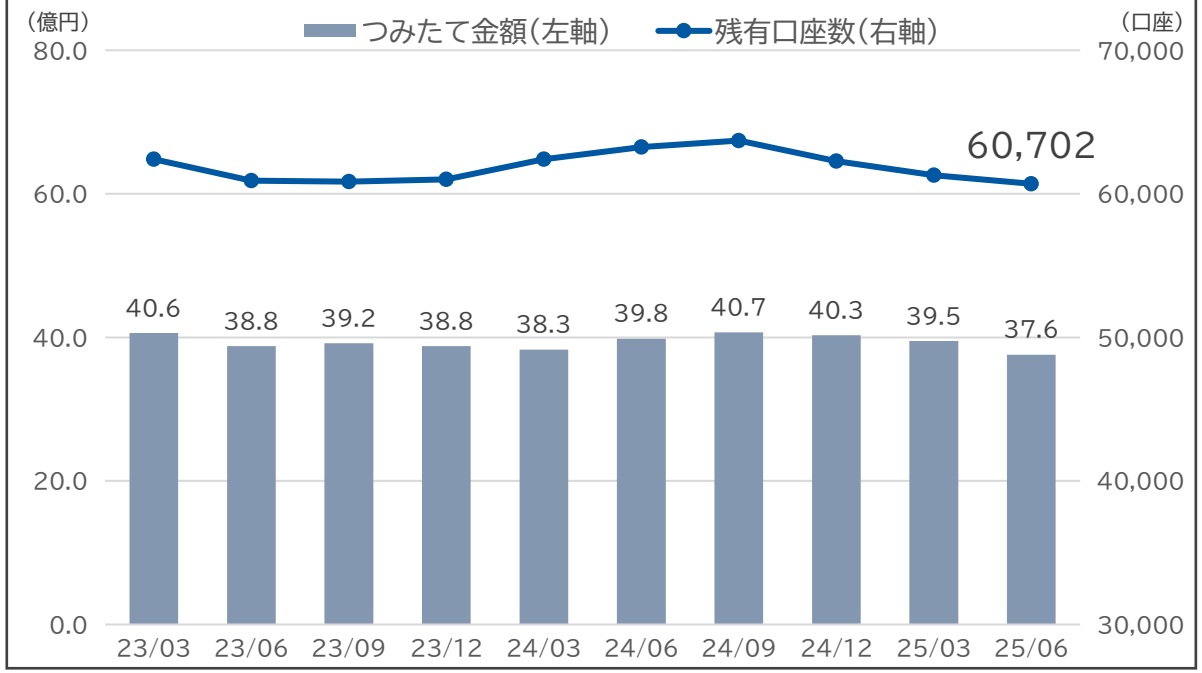
報酬率は各投資信託の信託報酬率のうち、当社グループが委託会社、販売会社として受け取る報酬率の合計値。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

直販、パートナーの状況

- 2024年9月に運用を開始した「ひふみクロスオーバーpro」の残高拡大に向けた、積極的な広告投資と販売パートナー拡大に注力。
- 直販口座の新規獲得を目的とした広告投資は、投資効率を優先しアフィリエイト広告への出稿を抑制。今後は「つみえーる」の販売に注力。
- パートナーは「ひふみクロスオーバーpro」の取扱い販売パートナー数の増加に注力。販売パートナー数は延べ数で1社増加の302社。
- 複数の販売パートナーで2025年9月から「ひふみクロスオーバーpro」を販売開始予定。

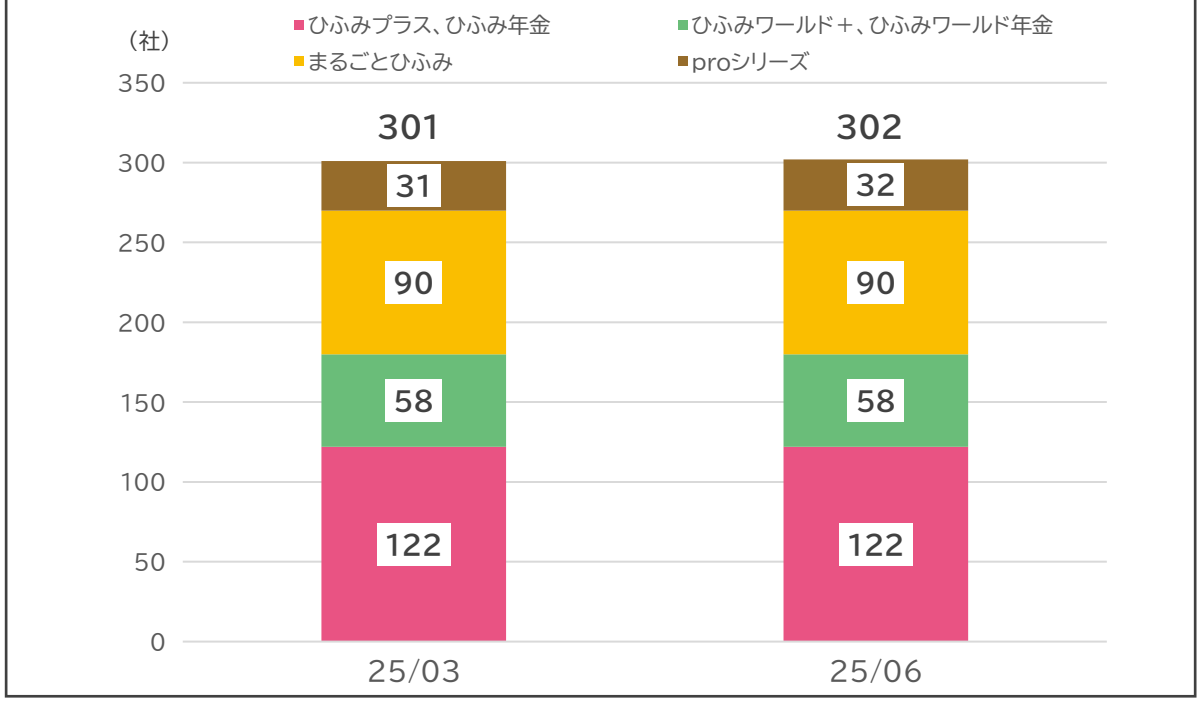
つみたて金額、残有口座数の推移



つみたて金額は、当社グループが提供する「つみたて購入」を契約いただいたお客様が実際に投資信託を買い付けた金額の四半期の合計値。
残有口座数は、四半期末において、「ひふみ投信」、「ひふみワールド」および「ひふみらいと」のいずれかを保有する顧客数。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

各商品を取り扱う販売パートナー数の推移



各期末において投資信託それぞれの取扱社数を合計したもの、例えばA社がひふみプラス、まるごとひふみ50、まるごとひふみ100を取り扱っている場合3社とカウント。

ひふみクロスオーバーproの状況

- 2024年9月に運用を開始した「ひふみクロスオーバーpro」の運用資産残高は300億円を突破。
- 「ひふみクロスオーバーpro」は未上場企業4社に投資。

ひふみクロスオーバーpro

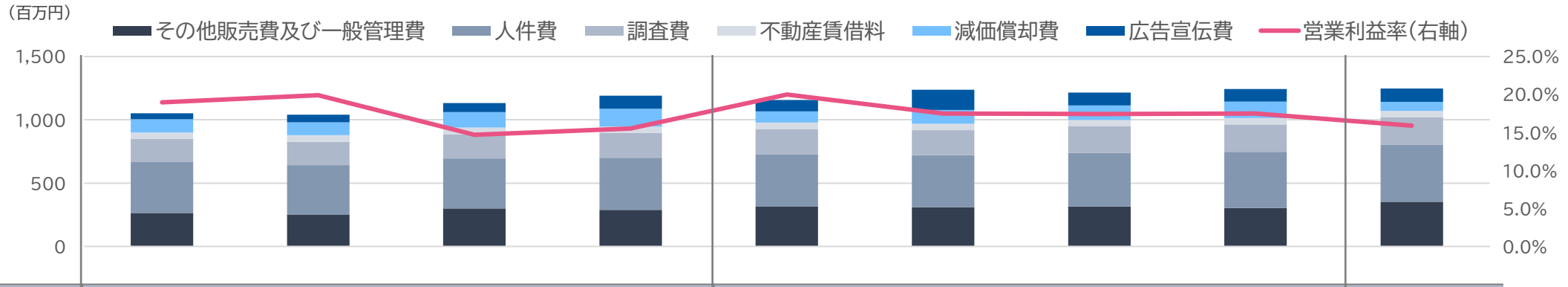
期間：2024年9月12日～2025年6月末

投資開始年月	銘柄名
銘柄紹介	
2025年4月	イノバセル
2000年にオーストリアで設立、2021年に日本を拠点に経営体制を整え再スタートした細胞治療製剤の開発企業。便失禁・尿失禁向け自家細胞製品を展開し、グローバルでPhase III試験を推進中。	
2025年3月	ベター・プレイス
「やさしい人がやさしいままでいられる世界へ」をビジョンに、確定給付型の企業年金制度である「はぐくみ企業年金」の導入・継続支援を行なう。金融機関や事業会社との提携が進み、事業が拡大。	
2024年12月	IDOM CaaS Technology
「マイ・カーライフを、すべての人に。」というビジョンのもと、独自の与信システムを活用し、多くの方々に柔軟なカーライフを提供。自動車取引のデジタル化を推進しながら事業を拡大。	
2024年9月	五常・アンド・カンパニー
「金融包摂を世界中に届ける」ことをミッションに、途上国において中小零細事業向けの小口金融サービス（マイクロファイナンス）を展開。マイクロファイナンス機関の設立・買収・経営支援を組み合わせながら規模を拡大。	

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

販売管理費変動の推移と内訳

- 2026年3月期より、YouTube動画制作費の会計処理を減価償却費から広告宣伝費へ変更したことにより、減価償却費減少。
- 人的資本への投資は継続。業容拡大に伴う外注費の増加により固定費増加。

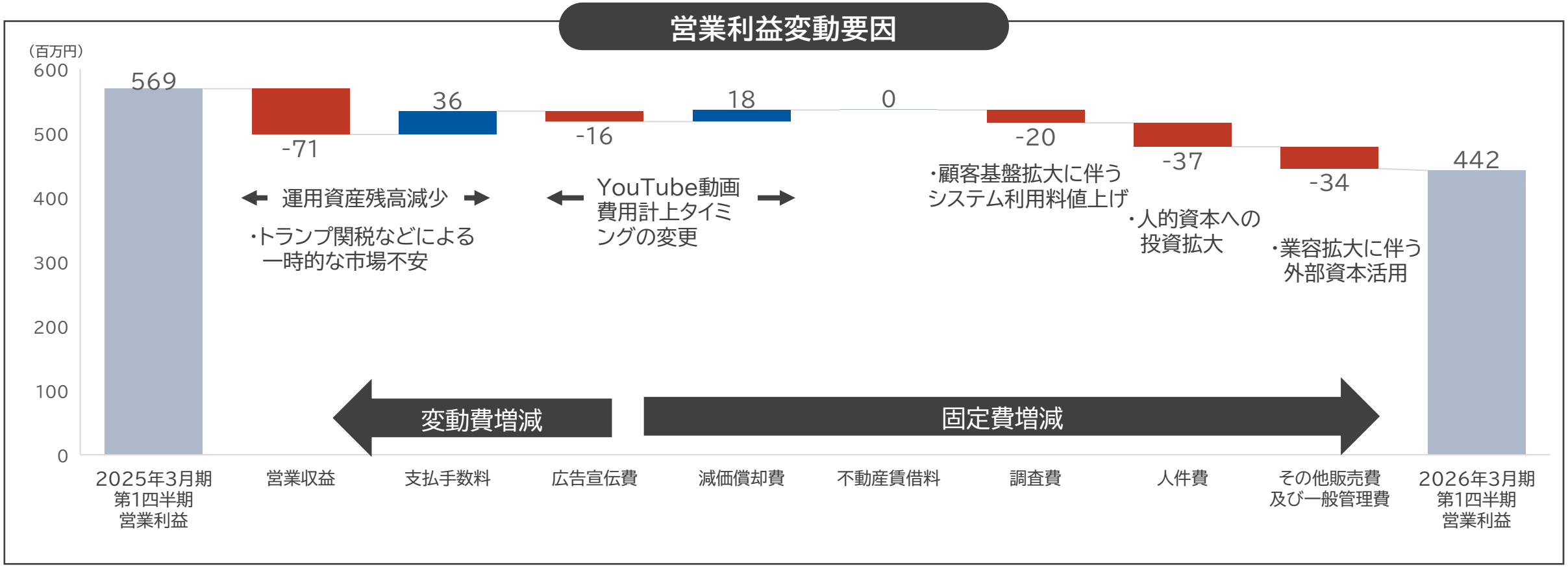


（単位：百万円）	2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
営業収益	2,551	2,587	2,511	2,659	2,848	2,846	2,868	2,860	2,776
支払手数料	1,013	1,029	1,007	1,053	1,119	1,108	1,149	1,113	1,083
広告宣伝費	47	60	71	104	89	159	102	101	106
減価償却費	105	102	122	140	89	109	114	129	70
不動産賃借料	51	51	52	51	51	51	50	51	50
調査費	181	185	193	196	198	198	210	216	219
人件費	403	393	395	411	412	410	425	444	450
その他販売費及び一般管理費	264	249	299	289	317	310	314	303	352
営業利益	483	514	369	412	569	499	499	501	442
営業利益率	19.0%	19.9%	14.7%	15.5%	20.0%	17.5%	17.4%	17.5%	15.9%

表中の数値は、四半期ごとに百万円未満切り捨ての数値を記載。
※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

営業利益の変動要因

- 2025年6月末の運用資産残高は過去最高水準で着地したものの、2025年4月～5月にかけての残高減少をカバーできず減益。
- 当社は、営業収益の変動に依存しない固定費の割合が高く、営業収益変動時に営業利益が大きく変動する費用構造となっている。
- 固定資産計上していた「お金のまなびば！」YouTube動画制作費を広告宣伝費計上とする費用計上タイミングの変更を実施するなど、固定費の見直しを実施。



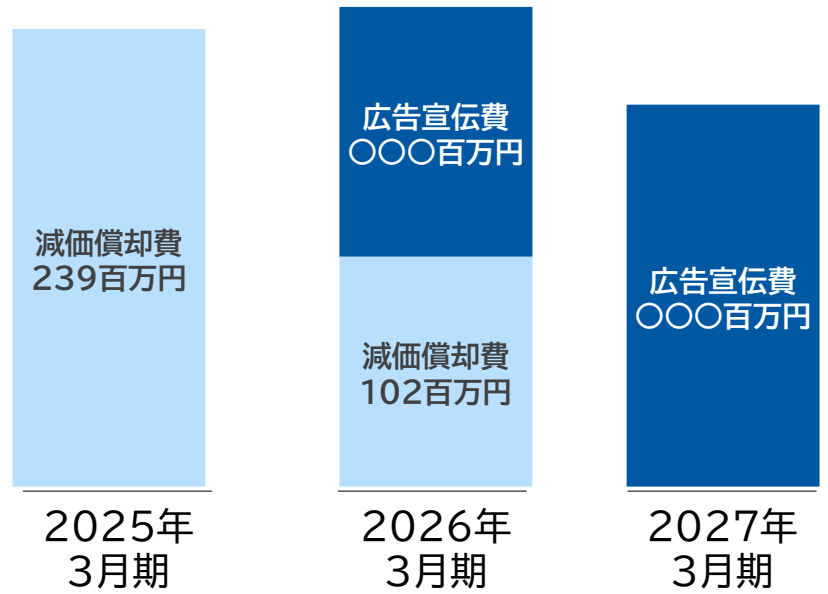
表中の数値は、費用毎に百万円未満切り捨ての数値を記載。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

ご参考:「お金のまなびば！」制作費の費用計上タイミングの変更について

- YouTubeチャンネルの動画制作費について、その効果が長期に及ぶとして固定資産に計上しており、PL上は減価償却費で認識していた。
- これまでの実績を踏まえると、動画の視聴数はリリース後1カ月程度に集中していることなどが確認できたことから、2026年3月期からは、実態に適するように、動画制作費は支出時に全額費用としての計上に変更。
- 費用の内容をより分かりやすくするため、今後は広告宣伝費として費用計上。

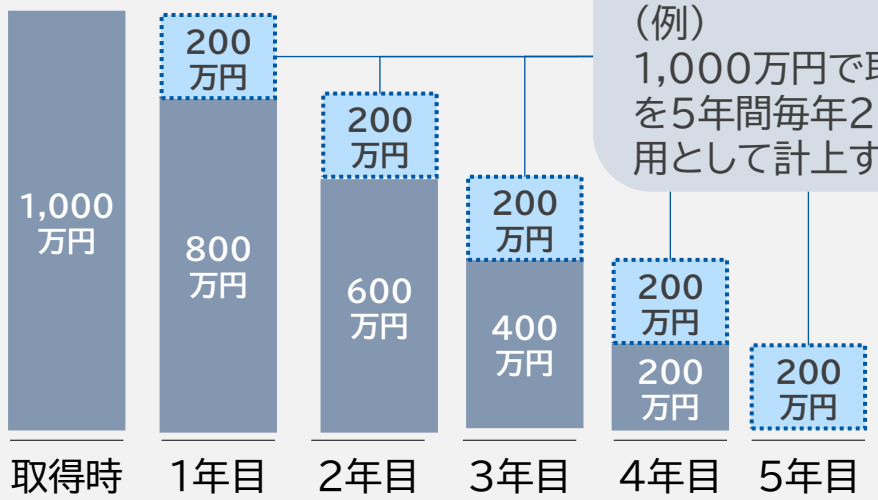
変更後のPLイメージ(動画制作費抜粋)



減価償却とは？

資産の取得費を耐用年数で分割して費用計上すること。

(例)
1,000万円で取得した資産を5年間毎年200万円の費用として計上する。



※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

02 今後の成長戦略について

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

2025年6月30日より提供開始

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

「つみえーる」の概要

Point
01 シミュレーションで目標が見「えーる」

未来の可能性を仮想的に体験し将来を予測する「モンテカルロ・シミュレーション」に基づいてお客様の目標の達成に必要な毎月のつみたて金額をシミュレーション。

Point
02 つみたて投資で利益を「えーる」

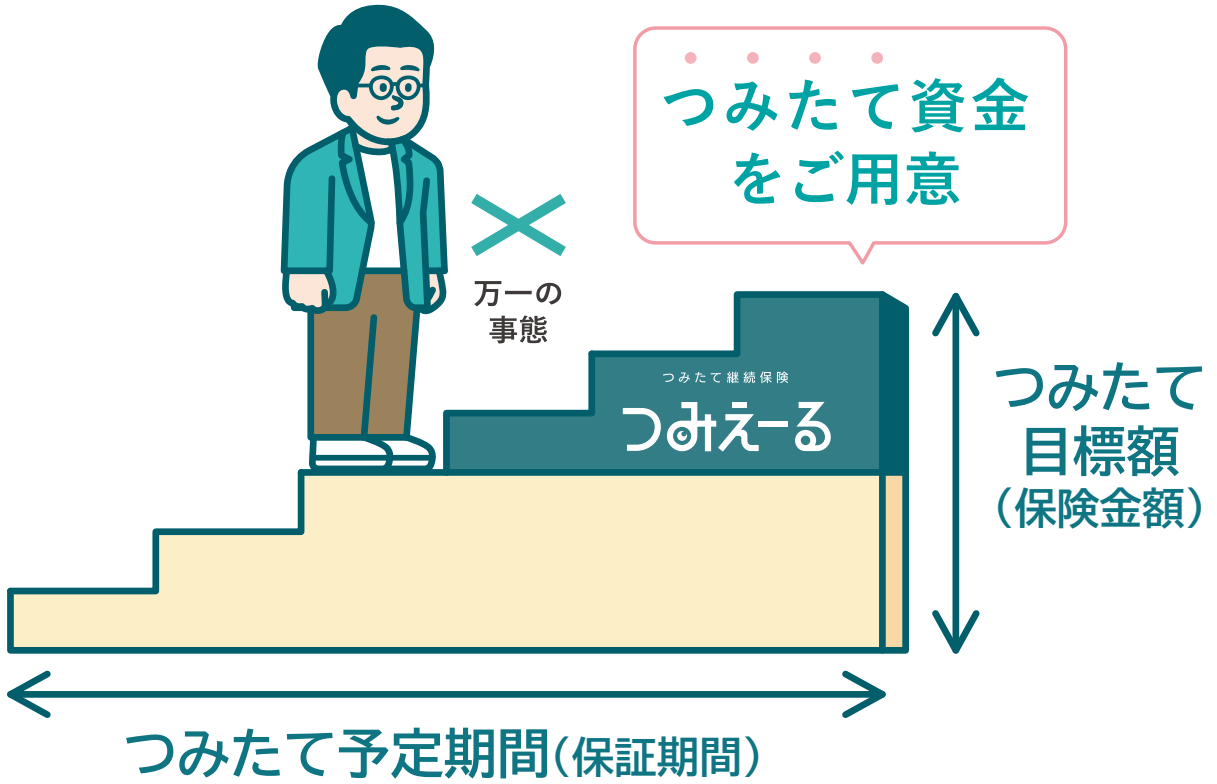
長期の運用実績がある投資信託「ひふみ」シリーズの運用で、一般的な保険商品よりも投資信託の高いリターンが期待されます。

Point
03 保険でつみたて投資に「えーる」

つみたて期間中、万一のことがあった際には、つみたて予定の資金をひふみが代わりにご用意。これからつみたてる予定金額の合計が保険金として支払われます。

費用の無料シミュレーション

口座開設

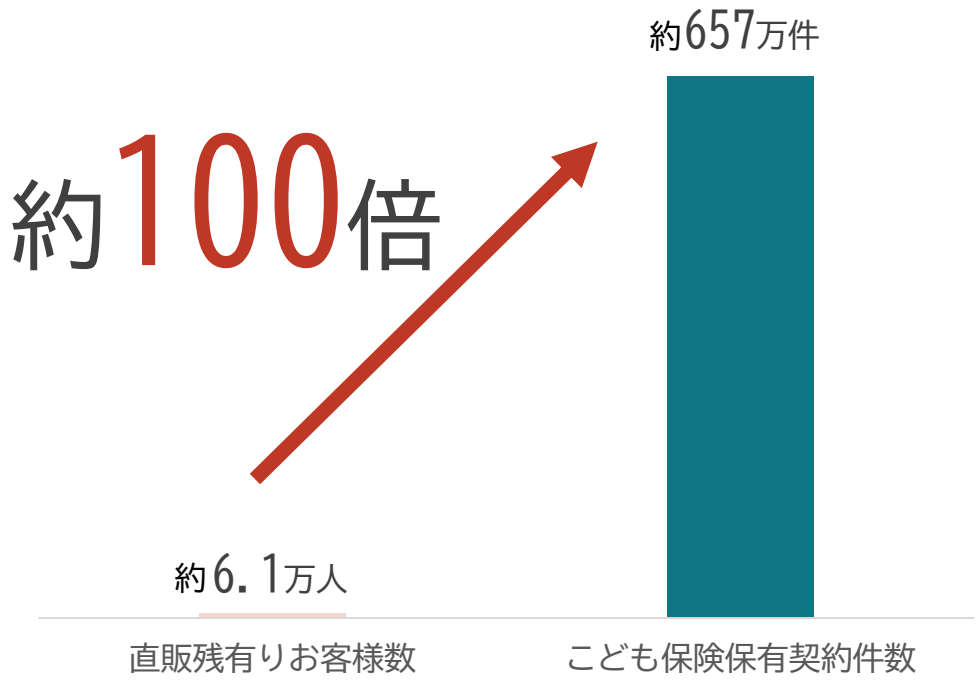


※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

「つみえーる」が狙う市場の規模とPR施策

- こども保険（学資保険）の保有契約件数は約657万件。うち、2023年度の新規契約件数は約17万件。
- 6月下旬、3児の母でタレントの小倉優子さん、現役保育士でインフルエンサーのてぃ先生をお招きし、「新教育資金プロジェクト」「つみえーる」ローンチの記者会見を実施。

こども保険の契約件数



※一般社団法人生命保険協会「2024年版　生命保険の動向」より当社にて作成

記者会見

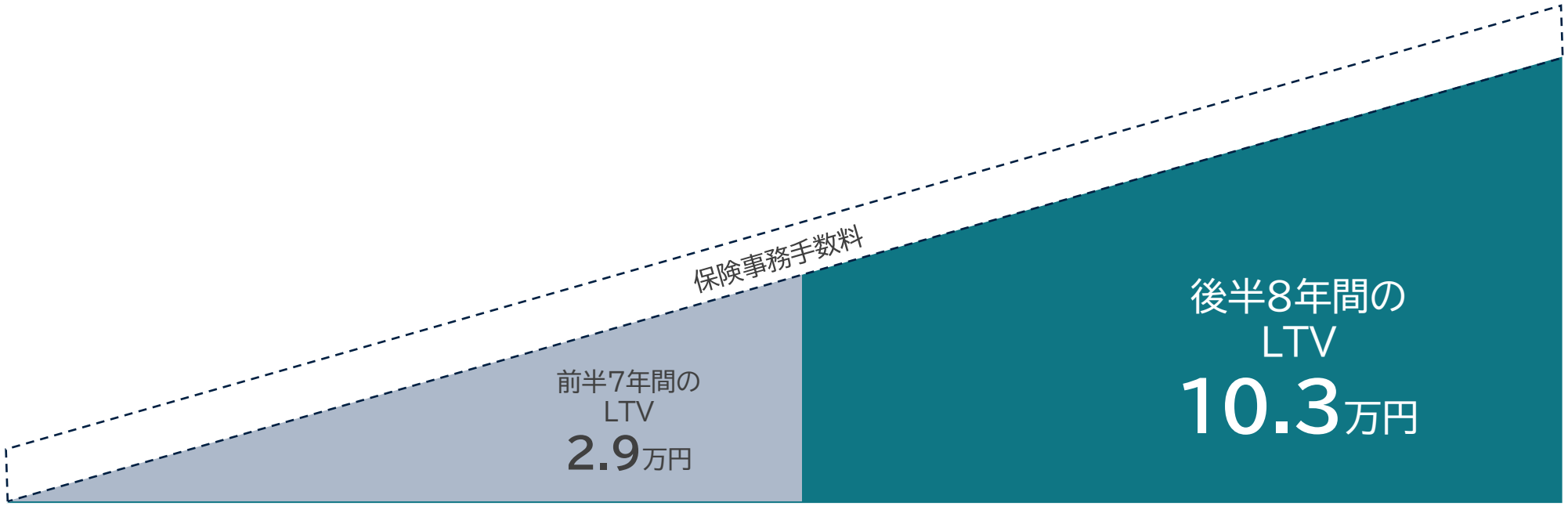
【左】T&Dフィナンシャル生命保険株式会社　代表取締役社長　森中 哉也 氏
【右】レオス・キャピタルワークス株式会社　代表取締役社長　藤野 英人

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

直販顧客のLTV構造

- LTVは((累計残高)×報酬率)＋保険事務手数料)×平均保有期間で算出。
- 直販顧客の平均保有年数は6.95年、「つみえーる」顧客の平均保有年数は15年を想定。
- つみたてを前提とした場合、保有期間の前半より、後半の方が残高が多くなるためLTVが高い。
- 「つみえーる」のお客様のLTV(生涯顧客価値)は、直販のお客様の約5倍。保険の事務手数料収入に加え、保有期間が長期化することを想定。

毎月1万円つみたてした場合の想定LTV



※平均信託報酬率は0.98%(税抜)。投資元本は価格変動しない想定。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

「つみえーる」と一般的な保険商品の比較

■ 学資保険や投資信託と保険を別々に契約した場合と比較して、運用面、コスト面で十分に競争力がある。

一般的な学資保険と「つみえーる」の比較

項目	こども保険	つみえーる
元本保証	○	△ 投資商品・市場動向による リターン予測をシミュレーションで提示
期待リターン	△ 契約時の金利環境による	◎ 投資商品・市場動向によるが 高いリターンが望める
保障	○ 親に万が一があった時 （主契約のみの場合）等	◎ 万が一の時に加えて、三大疾病、 障害介護状態（精神疾患含む）の時
途中解約	△ 決められた解約払戻金を受取 元本割れの場合が多い	○ 運用が好調な場合、 元本に加えて運用益を受取
税制効果	○ 全額生命保険料控除の対象	◎ 保険料は生命保険料控除の対象 投信積立はNISA活用可

投資信託と保険を別々に契約した場合と「つみえーる」の比較

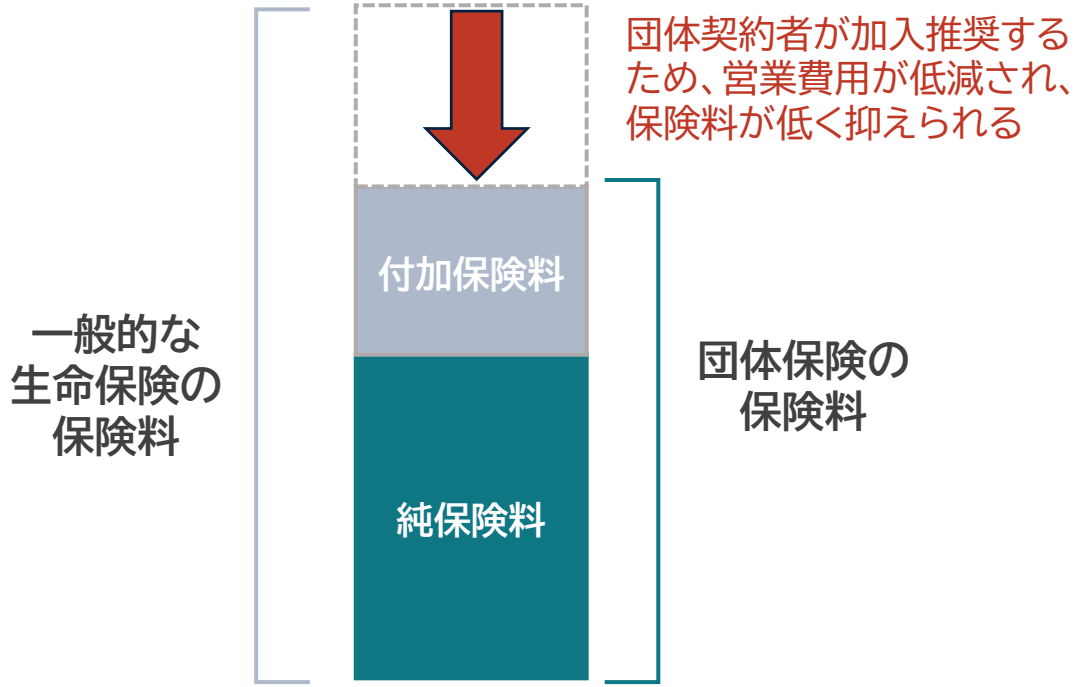
項目	投資信託と保険を 別々に契約した場合	つみえーる
運用の透明性	×	◎ 顔が見える運用、毎月の運用報告
期待リターン	○ 投資商品・市場動向による	◎ 投資商品・市場動向によるが、保険料が 低い分より高いリターンが望める
保障の選び方	△ 自分で設定	◎ つみたてに合わせて自動で設定
保障額の自在性	△ 低額の保障の設定が難しい	◎ 低額から設定可能
保険料 （保障コスト）	× 団体保険と比較して高い	◎ 団体保険のため、 保険部分を低コストで提供

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

「つみえーる」の優位性

- 一般の生命保険と比べて安価な保険料で提供可能。
- 「つみえーる」は団体保険のため、保険にかかる諸経費が低く抑えられる。
- 一般的な生命保険は、保障金額に対して保険料が発生する。「つみえーる」は時間の経過とともに保障金額が低減するため、保険料が低い。

団体保険のコスト優位性



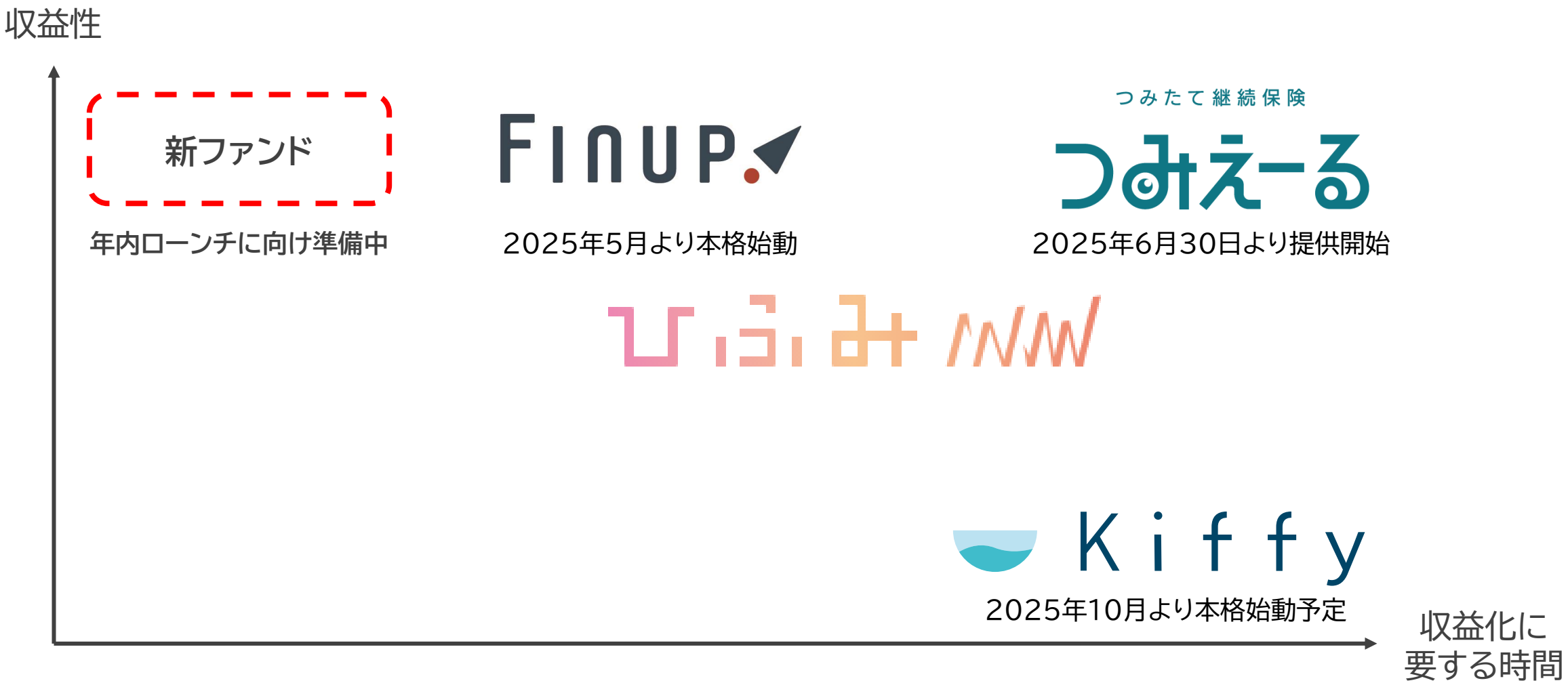
「つみえーる」の30歳の保険料イメージ

プラン	通常プラン		充実プラン	
経過年数＼性別	男性	女性	男性	女性
0年目	1,420	1,270	1,670	1,960
1年目	1,340	1,190	1,670	2,080
2年目	1,260	1,120	1,560	1,950
3年目	1,170	1,040	1,460	1,810
4年目	1,090	970	1,350	1,670
5年目	1,130	1,070	1,680	2,160
6年目	1,030	980	1,530	1,960
7年目	930	880	1,380	1,760
8年目	840	790	1,220	1,560
9年目	740	700	1,070	1,360
10年目	810	700	1,310	1,680
11年目	680	590	1,080	1,370
12年目	550	480	850	1,070
13年目	420	370	620	760
14年目	280	260	380	460

前提条件：つみたて設定金額30,000円、つみたて期間15年

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

収益性の高い新たなファンドを年内ローンチ予定



※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

03 貸借対照表と配当政策

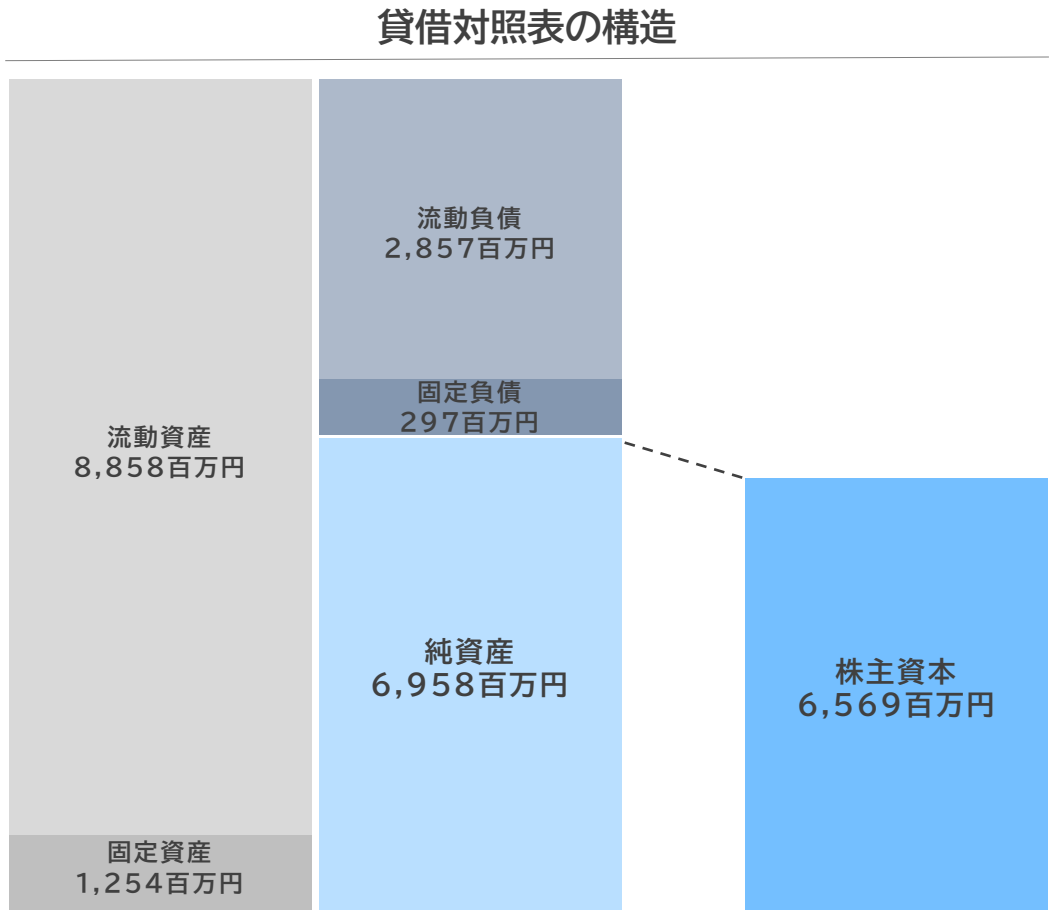
※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

貸借対照表ハイライト

- 株主資本については、親会社株主に帰属する当期純利益の減少により前期末比△0.7%の6,569百万円(1株当たり純資産金額:67.3円[1])。
- 1株当たり株主資本は前期末比-0.7%の67.3円。

(単位:百万円)	2025年3月期 第4四半期末	2026年3月期 第1四半期末	前期末比
資産総額	**10,739**	**10,112**	**△5.8%**
流動資産	9,442	8,858	△6.2%
現金及び預金	2,502	2,592	+3.6%
固定資産	1,297	1,254	△3.3%
負債	**3,731**	**3,154**	**△15.5%**
流動負債	3,374	2,857	△15.3%
固定負債	357	297	△16.8%
純資産	**7,008**	**6,958**	**△0.7%**
株主資本	6,614	6,569	△0.7%
利益剰余金	6,842	6,788	△0.8%
自己株式	△1,193	△1,193	0%
1株あたり株主資本[1](円)	67.8	67.3	△0.7%

1. 当社は2024年10月1日を効力発生日として1株につき8株の株式分割を実施しておりますが、当該株式分割の影響を考慮して算定しております。



※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

自己資金による少額出資について

■ ①EPS増加に繋がる投資リターン②顧客接点の広がりに資することの2つの要素を充足する投資を実行。

株式会社CROSS FMに少額出資を実行

企業概要

- 株式会社エフエム九州を出自とする、福岡県を中心にFMラジオ放送事業を手掛ける企業。
- 2023年9月に堀江貴文氏と大出整氏が中心となって会社を引き継ぎ再建中。
- 「電波をつかった、大実験をしよう」のキャッチコピーのもと、ラジオ放送を更に強化するとともに、放送連動イベントの増加や新たな事業の展開を図っている。

目的

「投資の魅力を隅々までお届けする」ことを加速するため、ラジオを使った投資に関する情報の新たな伝え方を含め、これまでにない金融のあり方や伝え方を同社と模索することを目指す。

New!

GOジョブ株式会社に少額出資を決議

企業概要

- タクシー配車アプリ等を手掛けるGO株式会社のドライバー人材紹介事業をスピンアウトし、2025年9月1日に新会社「GOジョブ株式会社」を設立予定。
- 労働力人口減少や「2024年問題」などに対応すべく、モビリティ業界の人材不足という社会課題の解決に特化した事業を展開。
- 総額10.5億円の資金調達を実施予定。フォースタートアップス社、スパークス社、大和ハウスベンチャーズ社および当社の4社から出資を受け、事業の成長加速を目指す。

目的

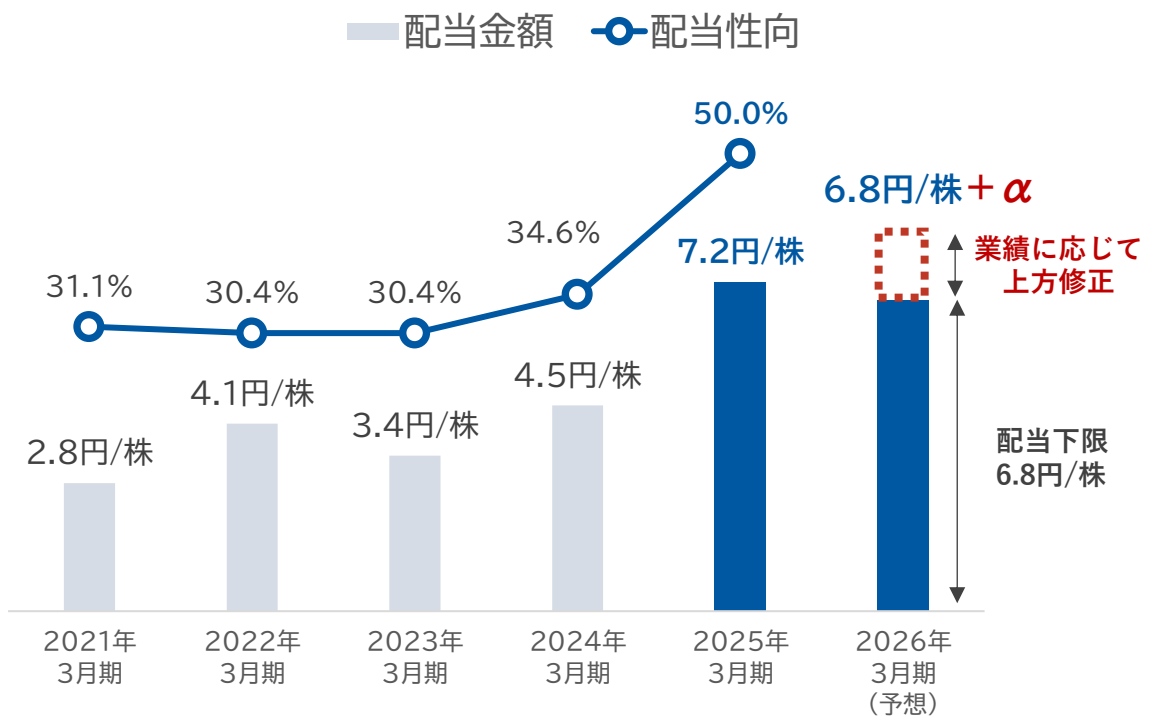
従来当社グループが接点を持つことが難しかった、ノンデスクワーカーや地方における資産形成層との接点が増え、その属性や生活観についての理解が深まることを期待する。その結果、将来的に、GOジョブ社のお取引先にお金に関するサービスを展開などを模索する。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

配当について

- 今期の1株当たり予想配当金はDOE10%に基づき6.8円。
- 業績動向に応じて、増配の可能性も視野に。

配当の推移



※配当金額は、2024年10月に行われた株式分割反映後

配当方針

	判定基準		1株当たり配当金
	配当性向 50%以上	DOE 10%以上	
2025年3月期	7.2円 EPS×50%＝7.20円	VS 6.8円 1当たり株主資本×10%＝6.67円	7.2円
2026年3月期予想	未定	VS 6.8円 1当たり株主資本×10%＝6.78円	6.8円 以上

※DOEの計算に用いる1株当たり株主資本は、前期末の数値を用いて算出。25年3月期のDOEについては24年3月期末、26年3月期のDOEについては25年3月期末の株主資本を用いる。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

04 お知らせ

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

2025年3月期の株主優待について

- 対象株主さまは、5,776名。7月25日時点のお申し込み人数1,768名（投信1,656名、寄付112名）。直販口座開設数は通常時の約6倍。
- 優待申込可能期間は、2025年9月30日までとなります。お早めの申し込みをお待ちしております。

お手続きの流れ（優待申込可能期間は、2025年9月30日まで）

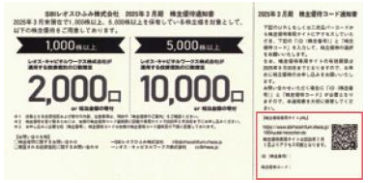
1
関連書類の準備

「配当金計算書」同封の
青色チラシ[1]と
株主優待コード通知書[1]を
お手元にご用意ください

2
株主優待専用サイト
にアクセス[2]

3
必要情報を入力

株主優待のお申し込みに
必要な情報は
株主優待コード通知書の
赤枠部分に
記載しております



4
「投資信託」「寄付」
どちらかの
株主優待を選択

「投資信託」を選択した場合
総合取引口座
情報の入力[3,4]

「寄付」を選択した場合
寄付内容の確認

1. 青色チラシ・株主優待コード通知書を紛失もしくは受け取られていない場合は、右記の「お問い合わせ」よりご連絡ください。
2. 株主優待専用サイト情報は、株主優待コード通知書をご参照ください。
3. 「投資信託」を選択される場合は、保有している当社グループ会社レオス・キャピタルワークス株式会社の総合取引口座情報をご入力ください。
   総合取引口座未保有の株主さまは、お手数をおかけしますが新規のご開設をお願いいたします。
4. 総合取引口座番号は、ひふみWEBサービスのログインIDに使用している7桁の数字です。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

お問い合わせ

新任取締役のご案内

■ 2025年6月24日付で2名の新任取締役が就任いたしました。

中川 渉行
取締役 グループCFO兼管理本部長

NTTでキャリアを開始し、監査法人等を経て東証に勤務。2018年レオス・キャピタルワークス入社。社長室、経営企画・広報IR室長を歴任し、現在は管理本部長兼グループCFO・経理財務部長。2025年6月より現職。

三木 桂一
社外取締役

JPモルガンAM、ラザード・ジャパンAM、UBS AM等の資産運用会社で社長を歴任。現在は複数社の社外取締役・投信協会理事。2025年6月より現職。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

フィナップの開講スクールについて

- レオス・キャピタルアカデミーとして、3つのスクールを開講し本格的に事業開始。
- 25年夏に本格的な株式投資や、マクロ経済について学ぶことができる2つのスクールを開講予定。

FINUP

お申込みはこちら

開講済

はじめての資産形成スクール	働きざかりの資産形成スクール	豊かなシニアライフスクール
金融リテラシーを身につけ自分らしい人生を自らデザインする	キャリアと資産形成を両立させてゆたかな人生を	安心の老後と家族の幸せをデザインする

25年夏頃開講予定

- 株式投資スクール
- マクロ経済スクール

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

SNSアカウントのご案内

各種SNSアカウントで情報発信中です。是非フォローをお願いいたします。

Instagram

Facebook

X(旧Twitter)

YouTube

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

メール配信登録ページのご案内

ご希望の方には、IR情報更新時にメール配信を行なっております。
メーリングリストへのご登録は以下のURLもしくは二次元コードから
当社HPのIRニュースページへアクセスし、
画像赤枠部分からご登録をお願いいたします。

https://www.sbirheoshifumi.rheos.jp/ir/news/

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

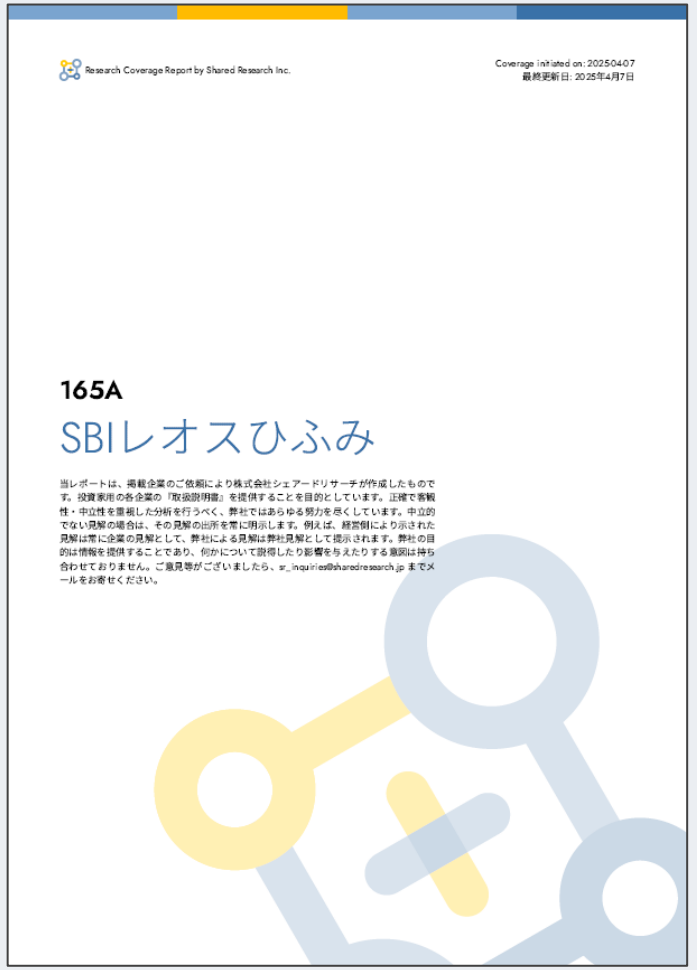
株式会社シェアードリサーチによる
アナリストレポートが発行されました

本レポートは、当社が株式会社シェアードリサーチに依頼し、
第三者の視点で調査・分析されたものです。
当社へのご理解を深め、投資判断の一助となれば幸いです。

- **公開開始日**
2025年4月7日

- **公開URL**
https://sharedresearch.jp/ja/companies/165A

本レポートは、予告なく公開終了となる場合がございます。



※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■ 本資料は、SBIレオスひふみ株式会社（以下「当社」といいます。）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。

■ 本資料は、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。また、過去の実績値は将来のパフォーマンスを示唆または保証するものではありません。

■ 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。なお、本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報は、公開情報または第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

■ 本資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。

※後述の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。